

福祉のまち推進センターの見守り活動について

豊平区社会福祉協議会では「孤立させない地域づくり」を目指し、福祉のまち推進センター等と協力し、見守り活動や日常生活支援活動を推進しています。長引くコロナ禍で、人と会ったり会話をする機会が減り、体力低下や認知症状の悪化が現実問題となっています。

コロナ禍だからこそ日常の変化や SOS に早く気づき早期に必要な支援につなげていくことが重要になっています。

足腰が少しずつ悪くなり、ちょっとした動作や作業が出来なくなるのと同時に、困っていることに自分では案外気づいていなかったり、支援があることを知らなかったり、サービスの利用の仕方がわからないということもあります。

最近あった豊平地区でのケースですが、地域包括支援センターから区社協に金銭管理がうまくできなくなってきた方がいるという相談を受け訪問したところ、ゴミも出せなくて困っている状況が発覚。さらに買い物に行くことも難しくなってきたということで、福まちへ相談し、ボランティアでゴミ出しを行い、買い物もボランティアが声掛けし、付き添うといった支援につながったということがありました。同時にケアマネジャーさんも入り、チームでその方を支援する体制ができ、一つのことをきっかけに複数の暮らしにくさの解消につながっていくということを実感しました。

変化に気づくには日ごとの状況を知っている必要があります。町内会や民生委員だけではなく住民一人一人が挨拶をする、立ち話をする、集まりに参加するなどお互い見守りみまもられ、孤立しない、声をかけ合える地域にしていくために少しだけ意識していただけたらと思います。そして少しでも「いつもと様子が違う」など気づいたことがありましたら、福祉のまち推進センターや近くの推進員や町内会、地域包括支援センター、そして私たち社会福祉協議会などへお知らせいただきたいと思っています。

一人で抱え込まずみんなで協力して解決していきましょう。



豊平区社会福祉協議会
安富里枝 (やすとみ りえ)

新型コロナ対策について

オミクロン株ウイルスが国内に流入、感染拡大第6波の兆し。3回目のワクチン接種が必要になっており、市から接種券が送られてきます。

石鹸による手洗い・うがい・アルコール消毒・マスクの励行・人込み等3密を避ける。換気等、今までの対策と変わりません。

インフルエンザも流行しそうですので、その予防接種もしましょう。

「5つの場面」に気をつけよう

1

飲酒を伴う
懇親会

2

大人数や長時間の
飲食

3

マスクなしでの
会話

4

狭い空間での
共同生活

5

居場所の
切り替わり

換気を良くして
三密を避けよう!



いつでもマスク
手洗い・消毒忘れずに!

災害に備えて～地域の結びつき、支え合い～



皆さん 新年あけましておめでとうございます。

皆さんは「災害」という言葉を聞いて、どのようなイメージを頭の中に連想されますか。平成7年の阪神・淡路大震災でしょうか。それとも平成23年の東日本大震災に発生した大津波による凄まじい光景や原発事故でしょうか。ブラックアウトという大停電を起こした平成30年の胆振東部地震でしょうか。

日本列島は世界でも類を見ない一番地震の多い国であることは、ご存じの事と思いますが、近年では気象変動の影響などにより既存の想定を上回る大災害の発生や、これまで災害が発生しないと思われてきた地域においても、大災害が発生しています。また、道内においては、風水害や豪雨、大雪による雪害といった災害が発生し、災害関連死等により多くの尊い人命が失われています。

豊平町連防災部では、地域での結びつきや、安全・安心の暮らしのために、福まち推進センターの福祉推進員や民生・児童委員、区、包括支援センター等の関係機関や団体、町内会との連携を強化しながら、地域の生活様式の変化、少子高齢化、核家族化による単身高齢者世帯の増加によって地域社会の繋がり・近隣との結びつきが希薄になっている現状を踏まえ、災害発生時に、犠牲者を最小限に食い止めるための活動・訓練を続けています。

新年を機に、ご近所の皆さんと“顔の見える関係づくり”を意識し、町内会行事にも顔を出し、年を重ねたことを現実として受け止め、例えば、「足が悪くて歩くのがゆるくない、地震があったら助けてね！」などと、相談しておくようにしておきましょう。地域の皆さんとつながりを持つことが大切です。豊平地区は、ほぼ人口の3分の1が65歳以上の高齢者です。数年後には右も左も高齢者ばかり、しかも、単身世帯（一人住まい）が増える一方です。元気な高齢者が、支援を必要とする病弱高齢者を支えていかなければならない時代が、もうそこまで近づいて来ています。今年も健やかに過ごしましょう。

防災部長 石川紀男



子育てサロンの 休止について

子育てサロンを休止してから、2年がたとうとしています。地域で孤立しがちな子育てしているお母さんたちの一助になればと頑張ってきましたが、本当に残念です。まだまだ先が見えない状況ですが、再スタートに向けて準備していきたいと思っています。



小学生児童との お手紙交流について



豊平地区内の3小学校の児童に色とりどり、沢山の
お手紙を書きいただきました。この手紙は福まち推
進員の方々が、75歳以上のひとり暮らしの方にお渡し
します。

おじいちゃん・おばあちゃんは、この手紙を楽しみに
待っています。また、このお手紙に感動し、自室の
壁に大切に飾っている方もおります。お返しに手作り
のお手玉を届けてくださった高齢者もおります。核家
族化やコロナ禍で離れて暮らしているお孫さんを想い
感動しているのではないのでしょうか。

児童の皆さんお手紙を書きいただき、ありがとう
ございました。3小学校の校長先生始め担任の先生の
皆様に福まち事業にご理解・ご支援をいただき感謝申
上げます。



困りごと相談について



介護保険の手続き・介護サービスや認知症の心配、
日常の困りごとの相談は、福まち推進センターや地区
の福祉推進員にご相談ください。民生委員に連絡した
り、町内会長や介護予防センター・包括支援センター・
区役所保健福祉課等への相談ネットワークが動きます。

マイナンバーカードの申請手続きの説明や体調不良
で外出困難な場合の困りごと等についても、ボランティ
アに繋ぎをとる等の解決に向けて努力させていただきます。

その他、配達をしてくれるお店の情報や、住宅の住
み替えの相談についても居住支援協議会へ橋渡しも出
来ます。一人で悩まずに相談し支援のネットワークを
活用しましょう。